



昭和43年度指定 高指第9号

(故)内免 勝二

【雅号】紫峰 しほう

生年／明治37年 指定技術名／銅器・仕上



ずいきうんゆう

瑞喜雲誘

工芸作家の市岡紫雲に師事し、造形から彫金、仕上げに関する全ての技術・技法を習得する。本格的な鑄銅仕上げ技術者として迎賓館の花瓶制作の他、数々の仕事を手掛ける。写真の瑞喜雲誘は、別地に泊まり込み原型を制作しており、天女の円やかで張りのある形姿に素材を生かした作りのよさが見てとれる。

昭和48年作

素材・技法／青銅・焼型鑄造

寸法／高さ110cm×幅70cm×奥行5cm

[表彰・受賞歴]

昭和 5年 日本商工展入選(以後、1回)
昭和 7年 ベルギー万国博覧会銅牌受賞
昭和42年 高岡市市民功労者表彰
昭和49年 勲六等瑞宝章
昭和58年 富山新聞社百年記念富山風雪賞

[経歴]

大正 8年 商工展審査員工芸家市岡紫雲氏に師事し彫
刻仕上げ技術を習得
大正14年 独立自営
昭和44年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
昭和46年 高岡巧美会会長
昭和47年 高岡金属指導所講師
昭和49年 迎賓館納入の花瓶製作
昭和50年 富山県高等職業訓練講師
昭和51年 富山県職業訓練校講師